

## キックリン顆粒 86.2%

### 【この薬は？】

販売名	キックリン顆粒 86.2% Kiklin Granules 86.2%
一般名	ビキサロマー Bixalomer
含有量 (1g 中)	ビキサロマー 862mg

### 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」  
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

### 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、高リン血症治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、おなかの中で食べ物に含まれるリン酸と結合し、便と一緒に体の外へ排出することにより、リンの体内への吸収を抑えます。
- ・次の目的で処方されます。

#### **慢性腎臓病患者における高リン血症の改善**

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
  - ・過去にキックリン顆粒に含まれる成分で過敏症のあった人
  - ・腸閉塞（腸が詰まった状態）の人
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
  - ・便秘の人
  - ・腸管に狭窄（腸が狭くなって、食べたものが通りにくくなった状態）のある人
  - ・腸管に憩室（腸に袋状のくぼみができた状態）のある人
  - ・腹部の手術を受けたことのある人
  - ・痔のある人
  - ・消化管に潰瘍のある人、または過去に消化管潰瘍になったことのある人
  - ・重い消化管運動障害の人
  - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。  
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

一回量	1回 580mg から開始します。
飲む回数	1日3回 食直前（食事の直前）に飲みます。

1日の最大使用量は8700mgです。

血清リン濃度によって飲む量が調節されます。

### ●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。飲み忘れた場合は、1回とばして次の服用時間まで飲まないでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腸管穿孔、腸閉塞があらわれることがあります。  
この薬の使用を始める前に、日常の排便状況を医師に伝えてください。  
毎日の排便状況（排便の有無、便の状態・色など）を確認してください。  
便秘の悪化、腹部膨満感などの症状があらわれたら、速やかに医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬は血中リンの排泄を促進する薬ではないため、この薬を飲み始めても、食事療法などによるリン摂取制限は指示どおりに続けてください。

- ・この薬を使用中は、定期的に血清リン、血清カルシウムおよび血清PTH（副甲状腺ホルモン）濃度が測定されます。低カルシウム血症や二次性副甲状腺機能亢進症の発現あるいは悪化がみられた場合には、ビタミンD製剤、カルシウム製剤などが投与されることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
腸管穿孔 ちょうかんせんこう	激しい腹痛、吐き気、嘔吐（おうと）、寒気、発熱、ふらつき、息切れ、意識の低下
腸閉塞 ちょうへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛
虚血性腸炎 きょけつせいちょうえん	急激な腹痛、血が混ざった下痢
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、腹痛、便に血が混じる、黒い便が出る
消化管潰瘍 しょうかかんかいよう	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）、腹痛、胃がむかむかする、黒い便が出る
便秘・便秘増悪 べんぴ・べんぴぞうあく	便が出ない、便秘
憩室炎 けいしつえん	腹痛、発熱
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	寒気、発熱、ふらつき、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
頭部	意識の低下
口や喉	吐き気、嘔吐、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色または黒褐色）、吐いた物に血が混じる（赤色～茶褐色ときに黒色）
胸部	息切れ
腹部	激しい腹痛、お腹が張る、腹痛、急激な腹痛、胃がむかむかする、食欲不振
便	便やおならが出にくい、血が混ざった下痢、便に血が混じる、黒い便が出る、便が出ない、便秘

## 【この薬の形は？】

色	淡黄色 顆粒
形状	

## 【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ビキサロマー
添加物	ヒプロメロース、マクロゴール、タルク、酸化チタン、黄色三酸化鉄、軽質無水ケイ酸

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：アステラス製薬株式会社

(<http://www.astellas.com/jp>)

くすり相談センター

電話：0120-865-093

受付時間：9時～17時30分（土、日、祝日、会社休日を除く）